

柏崎市コミュニティ推進協議会は、
11月28日に柏崎市産業文化会館（文
化ホール）でコミュニティ職員全体研



今どき高齢者の「コミセン」利用

修会を開催しました。この研修会に
市内31コミュニティ協議会の会長や
センター長、主事など約100名が
参加しました。

講師として、新潟工科大学建築学
科の黒木宏一准教授をお招きし、
「超高齢社会のコミュニティ施設・
地域施設―地域施設の転換と可能性
―」について、ご講演をしていただ
きました。

主な内容は①いまどきの高齢者像
の紹介②地域施設の変容③これから
のコミュニティ施設・地域施設像に
ついてでした。

超高齢化が進む社会の中で、トレ
ーニング室に通ったり、趣味を通し
て積極的に外出し、旅行に出かける
など、アクティブな高齢者が増えて

きています。

様々な高齢者像のある地域ニーズ
にどう応えていくかが必要になりま
す。

地域の拠点施設であるコミュニテ
ィ施設の利用や事業は、これまでと
違ったやり方も考えなければなりま
せん。

また、体育館を併設していること
は、他県と比べて施設が充実してい
る魅力の一つであり、よりPRする
ことで施設や事業の利用向上につな
がります。

これからのコミセンは超高齢社会
を迎え、第三の人生を支える地域の
場所として、これからも重要な施設
であると再認識しました。

高齢者の施設計画・地域生活
研究を専門としており、これか
らの超高齢社会・少子社会に向
けた、人の暮らしと建築空間・
環境のあり方を問う研究を行っ
ている。社会の現場に出て、自
分の目と耳と感性を頼りに、そ
こで暮らす人に寄り添いながら、
これからの建築について研究を
進めている。



講師紹介

黒木 宏一氏

安心・安全で元氣な地域づくりを目指して
柏崎市コミュニティ推進協議会だより



第12号

【発行】

柏崎市コミュニティ
推進協議会
TEL: 21-2272
FAX: 24-7714

柏崎市コミュニティ推進協議会（通称
「コミ協」とは…

柏崎市の31地区のコミュニティ協議会が参加し、
各地区の地域づくりの中心的役割を担うコミュニ
ティ職員が各コミュニティの抱えている課題の共
有や研修などを通して地域の活性化に取り組み
ための組織です。

第12回

元気なコミセンにお邪魔します

南部コミュニティセンター（西山郷）



南部コミュニティ協議会
センター長

滝澤 茂 義



南部コミュニティセンター

★コミュニティセンターの紹介

南部コミセンは五日市、内方、大坪、北野、妙法寺の五町内会で形成され、昭和五十九年に旧北野小学校跡地に西山町で最初に建設されたコミセンです。地域住民の声を活かし五集落が垣根を取り払い、子供から

お年寄りまで年代を超えた仲間づくりをスローガンに掲げ「計画策定委員会」を平成十八年に立ち上げ「住んで楽しいと感じられる地域にしよう。」と様々な事業に取り組んでいます。

★地域の紹介

西山町南部地区は五集落二百二十二戸、五百六十三人が暮らしています。首都圏へのアクセスは比較的近くには西山インターも隣接しており、交通機関には恵まれた地域にあります。近年過疎化の進展により平成元年以降、現在に至るまで戸数で四十九戸、人口では実に四百十四名も減少し、加えて高齢化が進むなど様変わりしておりますが、毎年雪解けを待つ各集落では春の大祭をはじめ伝統行事が行われ集落活性化の一翼を担っております。

★コミセン活動の紹介（行事）

事業活動班は五つの班で構成されているほか、スポーツや趣味などの特色を活かした「元気クラブ（五サークル）」の皆さんも毎週元気に活躍中です。事業活動では三大行事として敬老会、集落対抗による運動会、いきいき健康デーがあり恒例行事としてそれぞれの班が協力し合って事業を盛り上げています。また多くを学べる生涯学習のほかウォーキングなどの健康づくり事業にも取り組んでいる一方、隣接の旧消防署跡地に平成二十八年から中学生野球部（柏崎リトルシニア）が室内練習場を構え、年間を通じて子供たちの元気な声が聞かれます。



敬老会



運動会



視察研修



沖見峠ウォーキング



いきいき健康デー

コミュニティの講座を紹介します!!

西部郷 (米山、鯨波、上米山、大洲、剣野)

米山コミセン



鯨波コミセン



上米山コミセン



「門松作り」

毎年、暮れも押し迫ると恒例の門松作りを行います。地区民同士、互いに協力しながら和気あいあいと作業を進め交流を深めています。

神様は門松を目印に各家を訪れます。出来上がった門松を玄関に飾り、新年を迎えます。門松は、どんどん焼きにお焚き上げし、一年の無事を祈念します。

「もの作り教室」

もの作り教室の作品は、コミュニティまつりの展示コーナーに、例年出展しており、今年は、ミニ羽子板飾りを作りました。

小物は、和服生地で赤富士や鯛などの型取った厚紙を包み込み、綿を詰めてぐし縫いをし、羽子板に貼り付けるものです。時節にふさわしく華のある素敵な作品に仕上がりました。

「薬膳料理教室」

元気に過ごすための健康づくりをテーマに「食と運動による健康教室」を開催しました。

「食」では、3回の薬膳料理教室を行い、薬膳料理とはその人の体質に合わせて、生薬や食べ物を組み合わせた美味しい健康料理であることを学びました。

「運動」では、デイスコダンス1回、リラクゼーションヨガ2回の計3回を行いました。

大洲コミセン



剣野コミセン



「クラフトテープで編む かごバック講座」

手芸用のクラフトテープで、少し大きめのエコバックを編む講座を11月に全3回で開催しました。

講師のアドバイスにより、戸惑うことなくスタート。2回目からは進捗に個人差が出てきたものの、みんな教え合いながら和気あいあいとした雰囲気で行われました。余ったテープで小物を作った方もいらつしやるほど、大好評の講座となりました。

「健康講座(健康講話・健康体操)」

健康意識の向上を図るため、健康講話や軽体操、健康料理等の講座を実施しています。写真では地域内にある新潟病院の先生から、「感染症の移り変わり」「いきいき生活の工夫」の話をお聞きした後、家でも出来る健康体操と一緒に行いました。

健康で長生き、明るい地域を目指して活動しています。

楽しい講座が他にもたくさんあります。ぜひ参加してみませんか。

次回は中央郷(中央地区、比角、枇杷島、半田)を紹介します。

各郷主事研修での取り組み紹介

【記載項目】 1 研修日 2 研修場所 3 研修内容 4 研修から今後どう取り組むか

北部郷

- 1 平成29年7月20日(木)
- 2 原惣右工門工房と海辺のキッチン倶楽部もく
- 3 製造技術と郷土料理を継承する地域伝統文化と地域コミュニティの取り組みを学習する。
- 4 伝統文化の継承は、地域活性化に繋がることを学んだ。既存の伝統文化を継承しつつ、また新たな事業活路に活かす。



南部郷

- 1 平成29年7月18日(火)、8月28日(月)
- 2 高田・野田「ミセン」刈羽とつりんぼ生涯学習の切り絵について学習する。
- 3 また、避難所運営について市防災担当と意見交換を行う。
- 4 切り絵は、今後の生涯学習の参考とする。避難所運営については「市と地域の温度差」について意見交換したことで、今後の地域づくりに活かしていく。



東部郷

- 1 平成29年11月13日(月)
- 2 小千谷市岩沢アチコタネーゼ
- 3 地域おこし協力隊との協働による「地域住民の掘りどころづくり」について
- 4 地域が抱える問題の解決に「よそ者」目線を活かした新しい発想や企画の提案が実行につながると感じた。関係団体と連携していきたい。



西部郷

- 1 平成29年9月5日(火)
- 2 石川県立伝統産業工芸館
- 3 生涯学習を学ぶため、現代の暮らしに生きる伝統工芸を見学し、組子細工コースターを作成する。
- 4 講座に参加する立場を体験し、また、郷の交流で情報交換が出来た。今後の事業に活かしていく。



中央郷

- 1 平成29年6月19日(月)
- 2 新発田五十公野公園あやめ園
- 3 新発田のあやめ園を見学し、地域の町興し、コミュニティ活動の大切さを学ぶ。
- 4 全国でも有数の観光名所であるあやめ園を見学した。管理に、多くの地域住民が関わっていた。地域として活性化を考える昨今、地域コミュニティの大切さを改めて考えることができた。



西山郷

- 1 平成29年7月12日(火)、平成30年1月10日(水)
- 2 「牧之通り」、鎌田「気養の屋」
- 3 「牧之通り」を散策&見学することで地域作りを学ぶ。また、牛乳パックによる簡単小物入れを作成し生涯学習の参考とする。
- 4 今後の地域作りで古き良きものを継承するため、地域との連携を図りたい。牛乳パックの小物入れ作りを今後の生涯学習に役立てたい。



編集後記

寒い時期がまだまだ続きますね。こたつに鍋料理に当分冬物が手放せません。でも、春はもうすぐそこまで来ています。風邪など引かないように気を付けて、元気に春を迎えましょう。



柏崎駅
コミュニティ
掲示板

柏崎駅待合室の掲示板では、コミュニティの情報やイベント、地域活動の様子などを掲示しています。
駅にお立ち寄りの際は、ぜひ待合室の掲示板もご覧ください。